

広島市

カルロス・ロペス

国連訓練調査研究所（UNITAR）本部長

ここで何が起りどんな風に復興してきたかを考えると広島訪問は非常に心を動かされるものです。UNITAR 広島事務所はまだ設立間もないですが、研修生に訓練を提供するだけでなく、広島に存在することにより問題提起をすることができます。私自身広島訪問は初めてです。UNITAR は国連の中でも小規模な機関であり、職員も多くなく、UNITAR 広島事務所は世界に3ヶ所ある UNITAR 事務所の一つであり、その役割は大きいです。

UNITAR は、広島が持つ非常に象徴的な重要性を通じ、広島が持つ意味をどのように利用し、研修シリーズを実施していくかについて考えてきました。その研修は特に核問題に様々な角度から焦点を当てるものです。現在の核についての状況や、核不拡散の問題だけでなく原子力エネルギーの平和利用の是非に至るまでの問題であり、関係者にとって興味深い議論にしていきたいと考えています。ここ広島で UNITAR がこういった研修を行う利点があります。広島は紛れもなく平和の象徴の都市であり、また UNITAR は国連のシステムの中で非主流の存在であり、大国による抗議の声を生むこともないです。そのため様々な人々がこの研修に参加し、自由に討論することができます。

私はこれまでの経験から国連の仕組みについてよくわかっています。われわれには長期的な目標を持った研修が必要です。私は国連に勤務するようになってから日本との関係が深く、多くのアシスタントが日本人であったし、UNITAR の事務所は広島にあります。このように関係が深いことを非常にうれしく思います。

<平成 19 年（2007 年）6 月 22 日>

—お問い合わせ—

企画総務局 市長室 広報課 行政情報担当

☎082-504-2802

☎082-246-4734

✉koho@city.hiroshima.jp

Source:

<http://www.city.hiroshima.jp/www/contents/00000000000000/1197618844211/index.html>